Creative Enzymes®

ヒト由来のビオチン化トランスグルタミナーゼ、プロ酵素（ジモゲン）

Cat. No. NATE-1735

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持っています。
用途	トランスグルタミナーゼ3は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反□を触媒します。例えば、ペプチド結合グルタミン残基のアシル基をペプチド結合リジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合の形成を行います。ビオチン化トランスグルタミナーゼ3は、免疫沈降にも使用される可能性があります。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド: アミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
外□	液体
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM ナトリウムリン酸 pH 8.0、15 mM NaCl に調製されています。サンプルには 50% グリセロールが含まれています。トランスグルタミナーゼは Ca2+ 依存性の酵素です。
***EC*番号**	EC 2.3.2.13
***CAS*登□番号**	80146-85-6
分子量	78 kDa
純度	> 95 %（SDS-PAGEによる視□的）
活性	> 1000 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)]。
活性化因子	10 µl His6-rhTG3 (1 µg/µl) 35 µl 50 mM Tris-HCl pH 8 5 µl Dispase I (Roche) (0.2 µg/µl) 30 °Cで20分間インキュベート トランスグルタミナーゼ3を活性化するために10 mM Ca2+を加える。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37 °C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	100 µg

保管・発送情報

保存方法	作業用アリコットで-20 °Cで保管してください。繰り返しの凍結と解凍は推□されません。